

## 何を鍵にして、会社を選ぶのか

監事 大川 尚哉



樞の芽会で奨学金を受けている皆様の中には、大学や大学院卒業後の進路に悩まれている方も多いと思う。近年、卒業後に起業する方も増えていると聞くと、一般の民間企業への就職を選ぶ方が多数を占めると想定する。

しかし、民間企業は星の数ほどあり、真偽不明の膨大な情報も溢れている。この情報過多な時代において 余りに多すぎる選択肢の中から、どうやって企業を「選択」し「決断」という行為を行うのか。私は、現在勤めている会社において、毎年 50 人程度の学生の最終面接をしているのだが、いつも

学生一人ひとりに、何をもちてあなたはその選択と決断をするのかを問い、互いに確認する作業をしている。

その作業過程の中で、気付いたこと、私の考えを述べてみたい。主な論点は、企業とは、就職とは、そして鍵となる価値判断は何か、である。

まず、企業とは何か。企業とは「人格をもった人」である。

「法人」という言葉がある。大学時代は、法律によって権利能力を有する「形式的な人」という認識しかなかった。しかし、入社してみると、その認識は全く違っていた。「企業」という法人は、多数の人の単なる集合体ではなく、自らの意思や性格、哲学や価値観を持つ「人格や個性を持つ本当の人」だったのである。自然人と変わらないのだ。私が社会人になって最も驚いたことがこの事実であり、就職の決断をするときに、最も留意すべき重要な事項でもある。

人間の価値観は、環境により大きく影響を受ける。就職して数年後に学生時代の同窓生に会うと、彼らが各々就職した企業の価値観に、例外なく大きく影響を受けていることに驚くと思う。法人の擬制説、否認説、実在説などを法学で学ぶと思うが、企業に入社した多くの人は、実情として「実在説」に賛同すると思う。

では、このまるで人の様な「企業」への就職とは何か。それは「結婚」である。

人生において最も重大な決断は結婚であろう。個人の人生で最も大切な環境＝家庭をどのように形作るか、それを決める社会的な行為が結婚であると思う。であるなら、就職とは家庭の次に大切な環境＝社会での自己実現のための環境、これを形作る伴侶＝企業との「結婚」であると考えて頂きたい。

では、この伴侶を選ぶ価値判断は何か。それは「尊敬」だと考える。

異性の伴侶を選ぶ際の最も大切な価値判断は、肩書きなどではなく、その相手が人間として尊敬できるか否かである。結婚し実際に暮らしを共にすれば、それまで気付かなかった嫌な部分や価値観の違いも次々に明らかになり、これらに起因する辛い経験もワインの澱の様に堆積していく。それでも、相手に尊敬できる芯となる部分が存在していれば、そ

の澱を深い味わいに変えることができる。

企業との結婚も同様であり、その企業の本質的な人格をしっかりと見定め、本当に尊敬できるのかを見極めてほしい。それが無ければ、その企業に就職するべきではないと考える。

では、どうやって企業の人格を見極めれば良いか。OBとの対話、インターンシップ、面接などで、皆さんは希望の会社と接し、その雰囲気や待遇、仕事の内容などを確認すると思う。それも必要だが、そこに勤めている人達に是非訊いてほしい。「あなたの会社が最も大切にしている言葉を一つだけ挙げるならば、それは何か」「あなたは自社のどういうところが心から尊敬できると考えるか」「それは、どの経営理念や方針として皆さんは認識し、共有しているのか」「その方針は、実事業においてどういった具体的行動に表れているのか」「あなた自身も事業の中でどう行動しているのか、例を聞かせて欲しい」

これらの質問に対し、芯の通った太い幹の様に、若い先輩から経営層まで皆が自信をもって同じような回答をする会社があれば、それは素晴らしい企業である。そしてその太い幹こそが企業の人格であり、企業文化とも言われるもので、企業の成長力の源泉かつ経営の最も重要なプラットフォームだと言える。

最後に、皆様が良い伴侶との出会いに恵まれることを心より祈念している。また、伴侶との幸せな関係を作る秘訣は、いつも相手の長所を見ることだと付け加えておく。

**前田建設工業（株） 取締役常務執行役員**